かぼちゃ農薬一覧（令和８年度版）

園芸振興協議会大島支部

令和8年10月現在

２　殺虫剤

適用病害虫◎：登録　＊：効果が期待できる　薬剤の効用○：高い、□：中程度、△：小程度、×：低い、（空欄）：記載なし

農薬名	系統名	使用量 希釈倍数	散布量	使用時期	使用回数	適用病害虫名																薬剤の効用					展着剤添加	ミツバチへの影響	注意事項
						ネキリムシ	ウリハムシ幼虫	タネバエ	ケラ	コガネムシ幼虫	コナジラミ	アブラムシ類	ハモグリバエ	カボチャミバエ	**セグロウリミバエ**	アザミウマ類	ウリハムシ	ウリノメイガ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	カメムシ類	うどんこ病	接触毒	食毒	浸透性	速効性	残効性			
ダイアジノン粒剤３	有機リン	―	6kg/10a	植付時	1	◎	◎	◎	◎	◎													○	○	○		○	－	21	・土壌混和
ガードベイトA	合成ピレスロイド	―	3kg/10a	生育初期	5	◎																		○		○		－	21	・株元散布 ・夜間活動するネキリムシを誘いだし、食べさせて駆除
ダントツ粒剤	ネオニコチノイド	―	1～2g/株	定植時	1	＊				＊	＊	◎	＊			＊					＊		○	○	○	○	○	－	2か月	・植穴処理土壌混和
ダントツ水溶剤	ネオニコチノイド	2,000～4,000倍	100～300	3	3						＊	◎	＊	◎	＊	＊	◎		◎		＊		○	○	○	○	○	②③	45	・カメムシ目、ハエ目、コウチュウ目、チョウ目、バッタ目、アザミウマ目に高い防除効果
スタークル顆粒水溶剤		2,000倍	100～300	前日	2						◎	◎	＊		＊	＊							○	○	○	○	○	②③	40	・野菜のコナジラミ類に高い効果を示す ・散布、潅注、セルトレイ処理などで，植物体内に浸透移行して速やかに効果を発揮
モスピラン顆粒水溶剤		2,000～4,000倍	100～300	前日	2						＊	◎		◎	＊		◎	◎						○	○	○	○	②③	1	・ミツバチ・マルハナバチに影響が少ない
グレーシア乳剤	フルキサメタミド乳剤	2,000倍	100～300	前日	2						＊		＊		＊	◎		＊	＊	＊			○			○	○	②③	1	・うり類（成熟）登録 ・チョウ目害虫やアザミウマなど幅広い害虫に卓効 ・耐雨性が高い
ディアナSC	スピネトラム水和剤	2,500～5,000倍	100～300	前日	2						＊		＊		＊	＊		＊	＊	◎			○	○		○		②③	1	・チョウ目害虫、アザミウマなど幅広い害虫に卓効 ・ミツバチ、マルハナバチは翌日導入が可能
アファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	2,000倍	100～300	前日	2						＊		＊		＊	◎							○	○	△	○	□	②③	3	・チョウ目，ハモグリバエ，ハダニ，ホコリダニ等にも効果
デルフィン顆粒水和剤	バチルスチューリゲンシス水和剤	1,000倍	100～300	前日	―													＊	◎	◎				○		○			なし	・鱗翅目や若齢幼虫に有効 ・天敵やハチに影響がない ・野菜類で登録
コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン水和剤	4,000倍	100～300	前日	3						◎	◎												○				②③	施設×	・アブラムシ類、コナジラミ類、カイガラムシ類アザミウマ目害虫に対して高い効果
サンマイトフロアブル	ピリダベン水和剤	1,000～1,500倍	100～300	3	2						◎	＊										◎	○		×		○	②③	3 7	・ミツバチに影響あり，うどんこ病多発には効果劣る ・タバココナジラミの卵～成虫全てに効果 ・展着剤はニーズは使用しない（薬害）
アグロスリン乳剤	合成ピレスロイド	2,000倍	100～300	前日	5						＊	◎	＊			◎				◎	＊		○	△	×	○	○	②③	20 30	・主に接触毒で強い殺虫効果，速効性 ・卵から成虫まで殺虫力 ・かけ残しのないように散布
ベネビアOD	シアントラニリプロール水和剤	4,000倍	100～300	前日	3						＊	＊	◎			＊				◎				○	○	○	○	②③	1	・天敵、訪花昆虫への安全性が高い ・チョウ目害虫、コナジラミ、アブラムシ、ネギアザミウマ、ナモグリバエ等に効果
カスケード乳剤	IGR	2,000倍	100～300	前日	3								◎			＊				＊			△	○	×	×	○	①③	1	・登録はトマトハモグリバエ ・殺虫効果発現には時間がかかるが，持続性に優れ，訪花昆虫類への影響は少ない